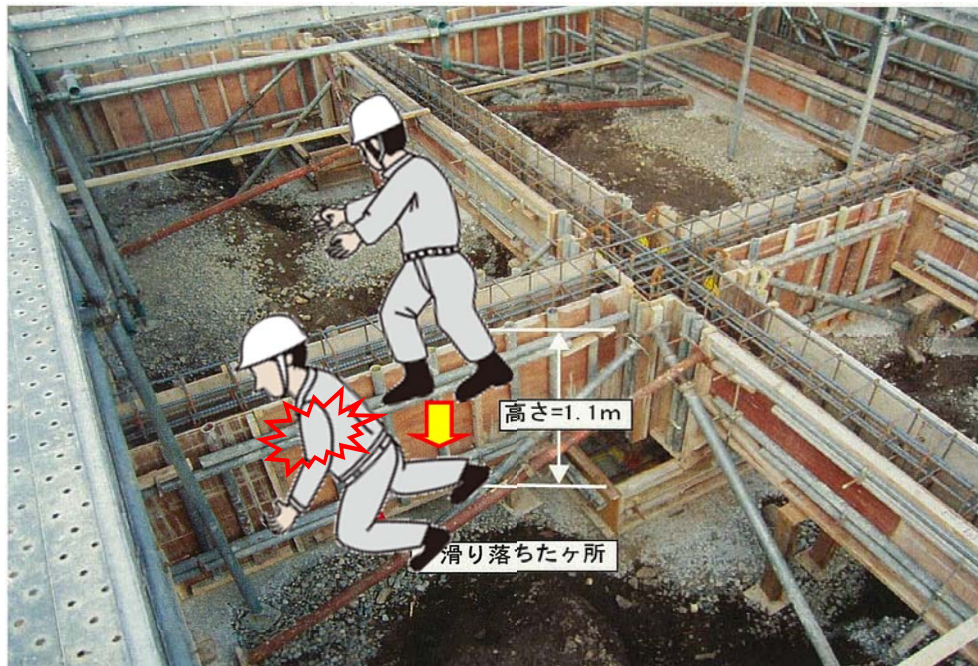


## 『基礎型枠乗り越しの際、布単管で足を滑らせ強打負傷』

発 生 年 月	平成 年8月
時 刻	8:45頃
被 災 者	型枠大工(71歳)
傷病名・部位	右肋骨亀裂骨折・胸部打撲（休業14日）

- ◎ 発生状況
1. 当日、被災者は基礎型枠の取付作業を開始し、作業場所AブロックからBブロックへ移動して型枠締付作業を行う予定でいた。
  2. 高さ1.10mの型枠を乗り越えようとして腹起し単管に両足をのせたところ、足を滑らせ締め付け金具（フォームタイ）に右胸部を強打した。
  3. 現場は前日から続いている降雨により場内は滑りやすい環境下であった。

◎ 被災状況



◎ コメント

- ・不安全行動が予想される箇所について、現地において予防的に注意喚起を行い、事故予防に努める。
- ・基礎の中を移動する際は、必ず地足場通路や梯子を使用すること。
- ・職長や作業員との連絡を密に行い、気が付いたことがあれば報告させる。